

「宇治支援学校の12年間であつておきたい力の観点マトリクス（試案）」

	健康			生活			人			地域				働く			学力
	基本的生活習慣	体力・生理的基盤	健康維持管理	日常生活	衣食住	身辺自立	協力	コミュニケーション	自他理解	社会性	余暇	参加・つながり	情報の活用	いきがい・やりがい	意欲	自己評価	
日常生活の指導	◎◎◎	◎・・・	○・・・	・・・	◎◎◎	◎◎◎	◎◎◎	◎◎◎	◎◎◎	◎◎◎	◎◎◎	◎◎◎	◎◎◎	◎◎◎	◎◎◎	◎◎◎	
遊びの指導		○・・・				○・・・	◎・・・	◎・・・	◎・・・	◎・・・	◎・・・	◎・・・	◎・・・	◎・・・	◎・・・	◎◎◎	
生活単元学習		○・・・	○・・・	◎◎◎	◎◎◎	◎◎◎	◎◎◎	◎◎◎	◎◎◎	◎◎◎	◎◎◎	◎◎◎	◎◎◎	◎◎◎	◎◎◎	◎◎◎	
作業学習							◎◎◎	◎◎◎	◎◎◎	◎◎◎	◎◎◎	◎◎◎	◎◎◎	◎◎◎	◎◎◎	◎◎◎	
基礎的な学習の時間	○・・・	◎◎◎	◎◎◎	◎◎◎	◎◎◎	◎◎◎	◎◎◎	◎◎◎	◎◎◎	◎◎◎	◎◎◎	◎◎◎	◎◎◎	◎◎◎	◎◎◎	◎◎◎	
総合的な学習の時間																○◎◎	
特別活動							◎◎◎	◎◎◎	◎◎◎	◎◎◎	◎◎◎	◎◎◎	◎◎◎	◎◎◎	◎◎◎	◎◎◎	
音楽							◎◎◎	◎◎◎	◎◎◎	◎◎◎	◎◎◎	◎◎◎	◎◎◎	◎◎◎	◎◎◎	◎◎◎	
図工・美術																◎◎◎	
保健体育		◎◎◎	◎◎◎				◎◎◎	◎◎◎	◎◎◎	◎◎◎	◎◎◎	◎◎◎	◎◎◎	◎◎◎	◎◎◎	◎◎◎	
情報																◎◎◎	
自立活動	○・・・	◎◎◎	◎◎◎	◎◎◎	◎◎◎	◎◎◎	◎◎◎	◎◎◎	◎◎◎	◎◎◎	◎◎◎	◎◎◎	◎◎◎	◎◎◎	◎◎◎	◎◎◎	

※左から、「小学部」「中学部」「高等部」の順。

※◎「とくに重点としている」 ○「大切にしている」

健康	基本的生活習慣	体力・生理的基盤	健康維持管理
<p>＜食に関すること＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・必要な栄養を摂ること ・必要な量を食べること ・よく噛んで食べること ・補食ができること ・咀嚼、嚥下ができること ・一定時間内に一定量を食べきこと <p>＜生活のしやすさ＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・適切な姿勢を保持できること ・歯磨きの仕上げや衣服・排泄等様々な場面で援助を受け入れられること 	<p>＜基礎体力＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身体全体を使った運動をすること ・思い通りに身体を動かすこと ・一年を通して安定して過ごること ・一日活動できる体力をつけること ・体力維持に関すること ・体調を崩さず生活を送ること <p>＜生活リズム・睡眠＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規則正しい生活を送ること ・毎日元気に登校すること ・昼夜の睡眠リズムが確立すること 	<p>＜医療受診・薬の管理＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々な検診を受診できること ・また抵抗を減らすこと ・薬を飲むこと ・確実に服薬できること <p>＜体調管理＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体調が悪いときや疲れたときに指導者に伝えること ・怪我や痛みを知らせること ・快、不快を伝えられること ・体調に応じて活動できること ・予防に関すること 	<p>＜心の健康＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の身体や性別に関心を持つこと ・成長への期待やあこがれを持つこと ・清潔を保つこと ・自分の体を大切にできること
<p>＜排泄に関すること＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・尿意や不快感を知らせること ・トイレで排泄できること ・トイレの始末ができること ・定時排泄ができること ・尿意等をしぐさ等で伝えること ・排泄、始末、手洗い等の一連の流れで行うこと 	<p>＜障害軽減・克服＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・過剰な刺激を回避すること ・さまざまなたま姿勢をとれること ・ストレッチャを受け入れること 		

生活			
日常生活	衣食住	身辺自立	
<金銭管理、使い方> ・買い物をする事 ・買い物の手順が分かること ・お金の価値や種類が分かること ・所持金が分かること ・自動販売機を利用できること	<『衣』：着替え・整理> ・靴の左右が分かること ・前後や裏表が分かること 自分の衣服が分かること ・一人で着替えができること ・脱いだものをたたんだり片付けたりできること。靴をそろえること ・気温や気候に合わせて服を着ること ・ボタンやフアスナー、ホックの操作ができること ・靴の着脱が正しくできること	<時間・スケジュール> ・スケジュールに合わせて活動できること ・時間や時計を意識して行動すること ・活動の見通しをつける手段を持つこと ・日課、週予定など先のことを知る手段をもつこと ・スケジュールやカレンダーで予定がわかること こと ・予定に合わせて準備ができること	
<危機管理><安心・安全> ・危険なことがわかること ・危険回避ができること	<『食』：調理・食生活> ・スプーンやはしを使って食べる事 ・食器を持って食べる事 ・調理への興味を持つこと ・調理器具を安全に扱うこと ・マナーを理解し食事ができること ・調理への興味を持つこと ・調理器具を安全に使うこと ・適切な時間で食べる事	<清潔・身だしなみ> ・歯磨き・手洗いが手順書や指導者の援助でできること ・歯みがきをすること ・身体洗いや洗髪をすること ・衣服を正しく着ること ・鼻をかむこと ・ハンカチを利用すること ・髪を梳いたりまとめたりすること ・TPOに合った服装をすること	
	<『住』：掃除・洗濯> ・おもちゃの片付けができること ・ゴミを拾う、ゴミ箱に捨てること ・掃除用具の使い方が分かること		

人	協力	コミュニケーション	自己理解
<人との関わり> ・友達と協力して、活動の準備や片付けができること ・友達と共に活動すること ・友達を意欲できること ・協力して活動できること ・友達や指導者と一緒に活動すること	<意志表現> ・YES・NOが言えること ・自分の要求を適切に伝えること ・援助を適切に求められること ・拒否や援助要求ができること	<自己調整> ・苦なことや活動を指導者に伝えられること ・自分の思いと違う状況をスケジュールや指導者の説明で受け止めること ・感情のコントロールができること	<自己理解> ・自分の得意や苦手が分かること ・自分自身を肯定的に受け止めること
<信頼> ・人との関わりを持つことに安心感を持ち、広げていくこと ・大人と一緒に遊べること ・友達と一緒に遊べること ・友達との関わりに慣れ、安心して過ごすこと	<理解> 「語彙を増やすこと」など主として「基礎的な学習の時間」の項目に依る。	<場に応じた言動> ・声の大きさを調整すること ・相手の目を見て、話したり聞いたりすること ・お礼を言うこと	<自己調整> ・苦なことや活動を指導者に伝えられること ・自分の思いと違う状況をスケジュールや指導者の説明で受け止めること ・感情のコントロールができること
			<自己理解> ・自分の得意や苦手が分かること ・自分自身を肯定的に受け止めること

地域 社会性	余暇	参加・つながり	情報の活用
<p>＜マナー・ルール＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分から挨拶ができること ・トイレや食事、公共機関の利用などで、年齢や場に応じた行動ができること ・ゾボンの前だけ下ろして排泄できること ・ドアを閉めて用をたせること ・取組の順番が分かること ・交代ができること ・ルールのある遊びができること(鬼ごっこ・黒ひげゲーム等) ・信号を守ること、車道と歩道の区別など交通ルールが守れること ・公共の場で穏やかに過ごせること 	<p>＜余暇活動＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・好きな遊びや遊具で遊ぶこと ・身体を動かして運動すること ・水遊びを楽しむこと ・音楽に合わせて歌ったり身体を動かしたりすること ・友達と一緒に活動することを楽しむこと ・パズルやテレビゲーム等一人で楽しむ遊びを増やすこと ・安全に外出できること ・一人で過ごせること ・落ち着く音楽等があること 	<p>＜参加・交流＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学年やグループなど、より大きな集団での活動に係わること ・外部講師、ボランティアなどを招いた学習に係わること ・地域店舗や公共機関を利用した学習に係わること ・保護者、地域の人を招待する学習に係わること ・学校周辺の公園やお店を利用できること ・地域の催し事への参加に係わること ・地域小中学校との交流に係わること 	<p>＜情報の収集＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・分からないことを尋ねたり調べたりすること ・進路に関する情報に関心を持つこと ・働く場の様子を知らること
<p>＜公共施設の利用＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の施設等を知ること ・銀行や郵便局等の公共機関の利用ができること ・電話を利用できること ・警察、病院が利用できること 	<p>＜学ぶ・知る・広げる＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の特色や名産等を知る、体験すること ・だまされない、危ないことに近寄らないこと ・自分の権利や義務について知ること <p>また、知って行動すること</p>	<p>＜地域コミュニティー＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小集団での活動を楽しむこと ・いろいろな環境で活動すること ・地域での活動に参加できること ・福祉サービスが利用できること 	<p>＜情報の活用＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マウスやタッチパネルの操作ができること ・パソコンの文字入力ができること ・調べたことを活用して行動すること
		<p>＜知ってもらおう＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒が自ら、地域へ案内・発信すること ・地域の人とともに活動すること 	<p>＜情報の整理・発信＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調べたことをまとめて整理したり、発信したりできること

働く	<p>いきがい・やりがい・貢献・役立ち感></p> <ul style="list-style-type: none"> ・当番活動をやりきること ・校内での活動をとおして、誰かの役に立っていると実感すること ・校外での活動をとおして、誰かの役に立っていると実感すること ・他者が困っていることに気づくこと 	<p>意欲</p> <p><学習場面への参加・参加意欲></p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動の見通しを持つこと ・苦手な活動も様々な支えで参加すること ・覚醒して参加できること ・自ら向かうことができる ・学習活動に自発的に参加できること 	<p>自己評価</p> <p><自己評価></p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の行動や結果を振り返ることができる ・振り返り、改善しようできること ・できた、できなかったが分かる、言えること ・具体的な内容が言えること 	
<p><やりがい></p> <ul style="list-style-type: none"> ・目標を実現するために主体的に計画し行動できること ・他者のために何かできること 	<p><関心></p> <ul style="list-style-type: none"> ・夢、希望、あこがれに関すること ・働く喜びが分かること 	<p><自己選択・自己決定></p>		
<p><役割・責任></p> <ul style="list-style-type: none"> ・当番活動をやりきること ・役割を果たすこと ・自分の役割が分かること ・生徒会活動等に参加できること ・指示に適切に対処できること 				

保護者の皆様へ

開校
3年目

宇治支援学校が 大切にしたいこと

保護者のみなさん、地域みなさんに支えられ、宇治支援学校は開校から3年目を迎えています。

本校の教育目標は、「自律 ～生活に生きるすべを学ぶ～」です。これは子どもたちひとりひとりが、学校にいる間にせいっぱい自分でできることを増やし、卒業後にこの宇治市・城陽市で、必要な支援を受けながら自分の持てる力を100%発揮して、よりよく暮らし、働くための意欲や力を育むことを意味しています。

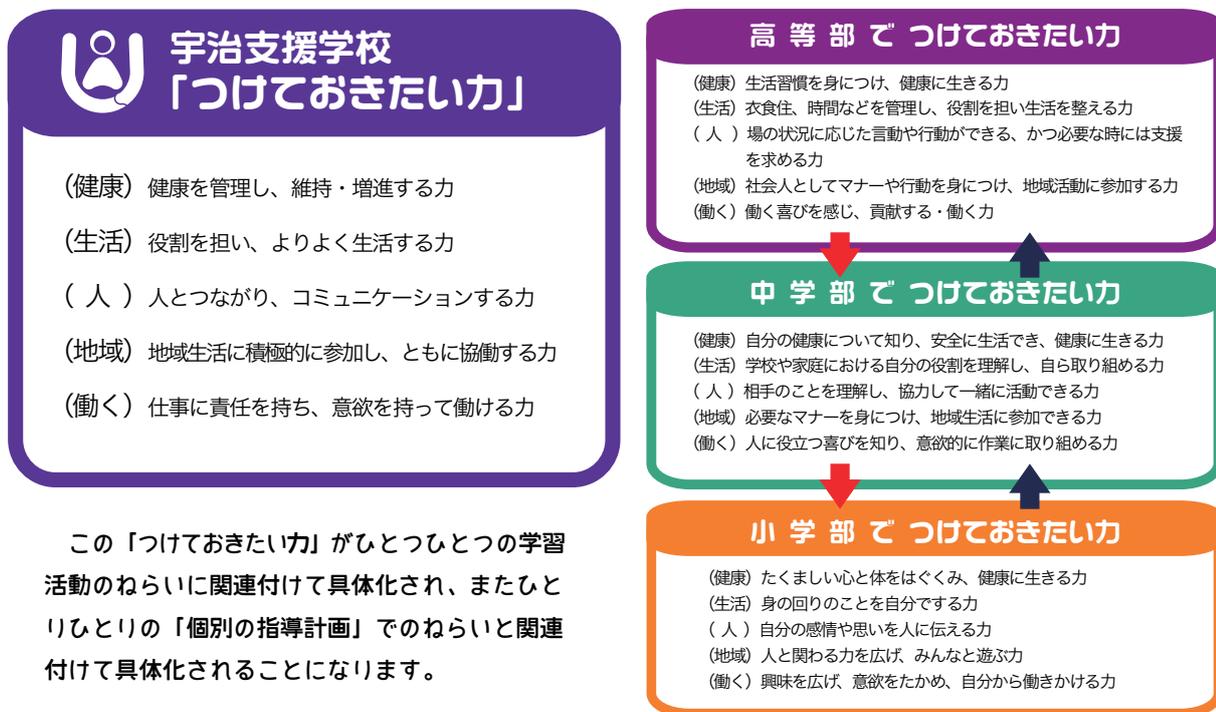
本校の教育理念「喜びはともにあること」のとおり、今後とも保護者のみなさんとともに、子どもたちの成長・発達を願って歩み続けたいと思います。



「つけておきたい力」について

子どもたちの将来の自立の姿はひとりひとりによってちがいます。本校では、小学部の子どもであっても、「どんな生活をして欲しい」「どんな仕事をしたい」といった具体的な将来の自立の姿を保護者のみなさんと一緒に考え、そのために今つけておきたい力を「個別の指導計画」の中に位置づけ、指導を行っています。そしてまた、個別懇談等の機会に保護者のみなさんといっしょに評価や次の目標を確認し、学校と保護者が同じ目線で子どもを育てていけるようにと考えています。

3年目を迎え、こうした考えを、「つけておきたい力」として、学校全体と学部ごとに整理をしました。



3年目の新たな取組 ①

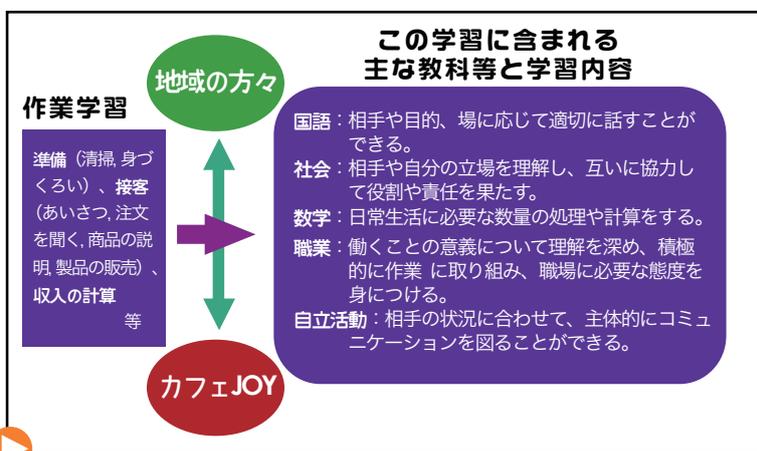
「基礎的な学習の時間」について

1 「各教科等を合わせた指導」を中心とした学習

本校では、一部の教科を除いて、各教科や自立活動等の学習を、合わせた形で指導しています。各学部における「日常生活の指導」、小学部では「遊びの指導」「生活単元学習」、中学部、高等部では「生活単元学習」「作業学習」が一週間の学習の中心になります。これらひとつひとつの学習活動(単元等)には、子どもたちひとりひとりに応じて、自立活動や各教科のねらいが含まれています。つまり「各教科等を合わせる」という指導のかたちをとって国語や算数(数学)といった各教科等の指導を行っているということです。

このように、いくつかの教科等を合わせ、より具体的で実際の学習に取り組むことから生活や働くことへの意欲、能力を身につけることをねらっています。

例えば、高等部「くらし職業コース」の生徒が取り組んでいる校内の喫茶「カフェJOY」での作業学習については、次のような考え方になります。

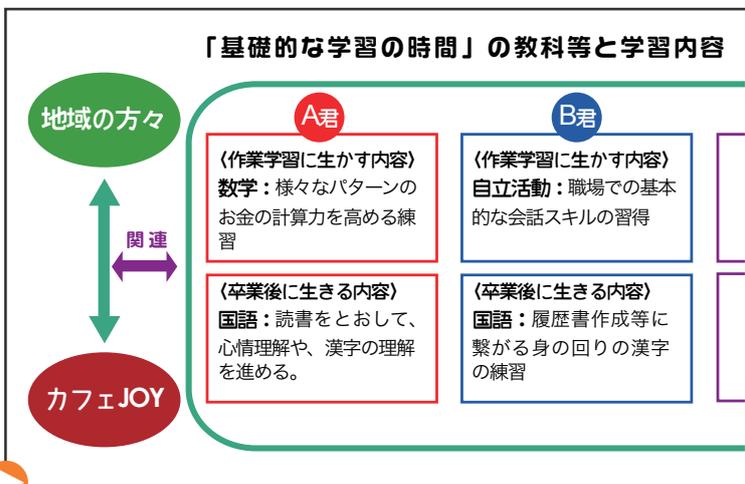


② 「基礎的な学習の時間」について

こうした「各教科等を合わせた指導」は、実際の学習となります。この実際の学習において、ひとりひとりが持てる力を発揮するために、また、その子どもが卒業後に生かせる基礎的な教科の力を身につけることができるように、今年度から知的障害の子どもたちの学級で、「基礎的な学習の時間」を一週間の学習の中に位置づけることにしました。

「基礎的な学習の時間」では、その時々に取り組んでいる「各教科等を合わせた指導」（「生活単元学習」・「作業学習」等）において、実際の能力をよりよく発揮するために必要な基礎的な内容や、将来に向けて継続して取り組む内容（国語のひらがなや漢字の学習、文章の読み書き、算数や数学の数や計算、時計、長さ、量等の学習も含まれます。）をひとりひとりに応じて学習しています。ですから、「基礎的な学習の時間」では、ひとりひとりの学習内容は異なってくるようになります。

例えば、先ほどの高等部の「作業学習」では次のようになります。



保護者のみなさんからは、「もっと教科の力をつけることを大事にして欲しい。」と御意見をいただきました。この「基礎的な学習の時間」では、上の図のように、ひとりひとりに応じて、国語、算数（数学）といった各教科の内容や自立活動の内容を学習することになります（学習は、学級ごとに行い、全てが個別指導ではなく、課題を組み合わせで指導します）。

こうした基礎的な力をつける時間と実際の能力をつける時間とを相互に関連づけた教育課程の工夫によって、全ての子どもたちが、地域との学習の中で自信を深め、より一層「生活に生きる力」を身に付けることを願っています。

3年目の新たな取組 ②

自立活動「時間における指導」について

肢体不自由のある子どもたちについては、自立活動の「健康の保持」「身体の動き」に関わる指導が子どもたちの生命や生活を豊かにするという観点からとても大切であると考え、初年度から校内の理学療法士等の専門家と連携して「からだプログラム」を作成し、ひとりひとりの課題や指導内容を明らかにしながら「各教科等を合わせた指導」（「からだの時間」）の中で指導するとともに、学校の教育活動全体を通じて指導してきました。

今年度は、さらに、次のような改善を進めてきています。

① 自立活動「時間における指導」を時間割の中に位置づける

肢体不自由のある子どもたちの学級では、「健康の保持」「身体の動き」に関わる指導の時間を、取組の目的や視点がわかりやすくなるように、これまでの「各教科等を合わせた指導」から「自立活動」に変更しました。担当が、理学療法士等のアドバイスを得ながら指導を進め、教育活動全体を通じて指導することには変わりはありません。

② 「からだプログラム」の見直しを進める

これまでの「からだプログラム」は、指導の具体的な流れ・手順を示したものでしたが、今年度の後期からは、評価欄等を加え「個別の指導計画」の別表とします。これによって、「自立活動」の指導内容と他の「各教科等を合わせた指導」のつながりがわかりやすくなり、「自立活動」の指導でつけてきた力が、他の授業、そして家庭生活、地域生活へと広がっていくことをねらっています。

